地域おこし協力隊　活動報告

News Letter

Vol.82 Autumn 2026.10月

細谷隊員　活動報告

９月は、利平茶屋森林公園キャンプ場にて開催された「令和8年度 群馬県地域おこし協力隊交流研修会」に参加しました！！

今回の研修では、同じ班のメンバーとメニューを見ずに料理を作ったり、一対一で参加者全員と話したりと、普段の研修とは少し違った形で交流を深めることができました。初めて会う方も多い中、みんなで相談しながら料理を作ることで自然と会話も増え、とても楽しい時間になりました。

一対一で話す時間では、それぞれの地域での活動や考え方を聞くことができ、「そんな考え方もあるんだ！」と新しい発見もたくさんありました。同じ地域おこし協力隊でも、地域や活動内容によってさまざまな取り組みがあることを改めて感じました。

今回の研修も、たくさんの方と交流し、新しい考え方に触れることができた貴重な機会となりました。今回得た刺激や経験を、これからの活動にも活かしていきたいと思います。



当日の様子



OG 河野　活動報告

みなさん、お久しぶりです！元地域おこし協力隊の河野です。協力隊を卒業して早いもので2年半が経ちました。現在、私がどのような活動をしているのか、SNSだけでは町内の皆さんにお届けしきれないと思い、今回この協力隊新聞に近況を掲載させていただくことになりました。

ざっくりと説明しますと、私は今、インドネシアの首都ジャカルタで、群馬県の観光インバウンド（訪日観光客の誘致）活動に個人で取り組んでいます。この活動を始めたきっかけは、学生時代から「日本の魅力を海外に発信したい」という夢があったこと、そして協力隊として地域の皆さんと関わる中で「地方創生」に強い興味を持ったことです。卒業後は東京の旅行会社で2年間働いてお金を貯め、東南アジアの中でも圧倒的な成長力を持つインドネシアで挑戦したいと思い渡航しました。こちらに来て、早くも3ヶ月以上が経ちます。現在はどこかの会社に所属するのではなく、個人で道を模索しながら活動しています。ありがたいことに、群馬県の観光物産国際協会や、インバウンドに特化した地域密着型の県内旅行会社にもご協力をいただいています。現地では私が橋渡し役となり、インドネシアの旅行会社や現地の大学生にインタビューを行い、市場調査や情報交換を重ねてきました。その結果を日本側とも共有し、現在は現地旅行会社から群馬県を組み込んだ新しい日本ツアーの企画に協力していただけることになり、新規ツアー造成という大きなステップに挑戦しているところです。また、政府機関である現地のJNTO（日本政府観光局）にもアプローチを行い、行政のバックアップもいただきながら、まずは群馬県の認知度を高める活動を進めていきたいと考えています。現地での暮らしですが、まさに「ザ・東南アジア！」という熱気あふれる日々で、日本とはまったく別世界です。何度も体調を崩していますが、豊かな自然や素晴らしい観光資源に恵まれた、とても素敵な国だと感じています。また一方で、治安の良さ、食事の美味しさ、生活の利便性など、改めて日本の素晴らしさを肌で感じる毎日です。ジャカルタから群馬、そして日本を盛り上げていけるよう、これからも精一杯挑戦していきたいと思います！もちろん帰国後は木の実活動を再開する予定です！

町内の皆さんも、どうかお体に気をつけてお過ごしください。

地域おこし協力隊とは：都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、地域協力活動や起業・定住に向けた活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。（総務省HPより）

発行/桐生市地域おこし協力隊
担当　細谷